

○ 第73回 全国漁港漁場大会報告

1. はじめに

(公社)全国漁港漁場協会主催の第73回全国漁港漁場大会が令和6年10月24日、東京都千代田区の東京国際フォーラムにおいて、全国の協会関係者など約1,300名の参加のもと開催されました。長崎県からは、比田勝尚喜会長（対馬市長）をはじめ協会会員である市町及び漁協関係者等の皆様83名が参加しました。



大会開催模様：高吉会長挨拶

2. 海業展開など提言書を採択

大会は初めに高吉晋吾(公社)全国漁港漁場協会会長の主催者挨拶、来賓として農林水産省の舞立昇治大臣政務官の祝辞に続き、滝波弘文参議院農林水産委員長、山本順三漁港漁場漁村整備促進議員連盟会幹事長、坂本雅信全漁連会長、枝元真徹(一社)大日本水産会会長より祝辞がありました。

その後、来賓者の紹介、石破茂自民党総裁他からの祝電紹介ののち議事に入り、議長选出が行われ議長には佐藤政俊福岡県漁港漁場協会会長（福岡県漁連会長）が選出されました。

佐藤議長は、議長就任の挨拶を行ったのち議案審議に入り、付議議案「令和7年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」について、伊達憲太郎鳥取県港湾・漁港協会会長（境港市長）より提案理由の説明がありました。

続いて、議案に関連した次の取組み3事例の発表があり、本県から対馬市の犬束ゆかり氏が講演（表紙参照）を行い、講師に対して会場から賛辞の拍手がありました。

- 水産クラスターの進化 ～復興のその先へ 気仙沼市長 菅原 茂氏
- 兵庫県の漁場整備 ～第2の鹿ノ瀬構想と豊かな海の実現に向けた取組～
兵庫県農林水産部水産漁港課 課長 山下正晶氏

○ 海の困りごとを“あきない”に ～海業～

(有) 丸徳水産 専務 犬束 ゆかり氏

事例発表後、早速、採決に入り本議案は満場一致で議決され、議長の指名により岩手県宮古市重茂漁協女性部の中村菜摘さんが議決された内容を取りまとめた提言(案)を朗読し、満場の賛同の拍手により採択されました。

採択された提言は、(公社)全国漁港漁場協会会長、各都道府県漁港漁場協会会長、全国漁業協同組合連合会会長の連名による提言書を作成し、政府及び各都道府県の地元選出国會議員等に働きかけ、提言の施策と必要予算の確保の実現に努めることを会場の賛同を得て決定し、議事を終了しました。

なお、提言と付議決議の4推進事項は次のとおりです。

- 一、漁港機能の再編・強化と養殖拠点の形成による水産業の成長産業化
- 一、海洋環境の変化に対応した漁場整備や藻場の保全による生産力の強化
- 一、漁港・漁村・海岸の強靱化と長寿命化による安全・安心の確保
- 一、海業の推進による水産業と漁村の持続的な発展



(中央) 比田勝尚喜全国副会長



舞立農水政務官挨拶



滝波農水委員長挨拶



山本幹事長挨拶



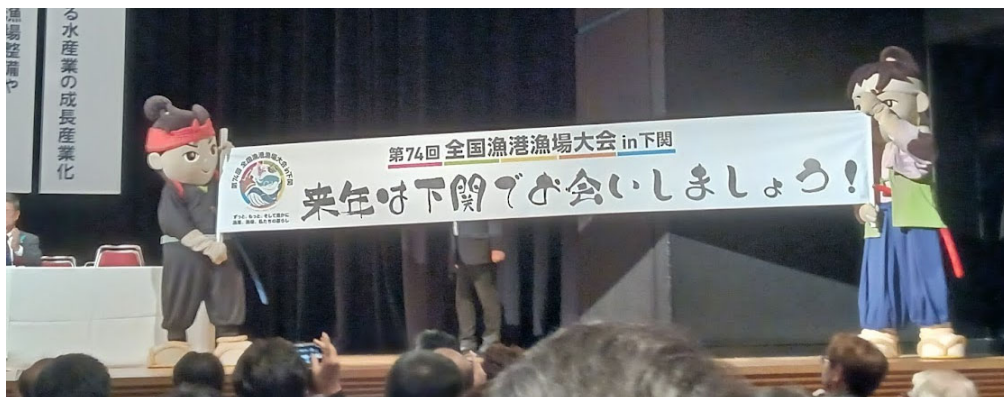
会場全景



本県からの参加者

3. 次年度開催

最後に、来年度開催地となった山口県下関市の前田晋太郎市長から熱烈歓迎のご挨拶があり、ステージでは「しものせき武蔵くん」と「がんりゅう小次郎」くんから、全国に向けて招待のメッセージを発信し大会の幕を閉じました。



しものせき武蔵くんとがんりゅう小次郎くんの次回開催地アピール

協会からのお知らせ

*** 第74回 全国漁港漁場大会の開催情報 ***

- ・ 標記大会は、次のとおり開催されます。
会員等皆様方の多数のご参加をお待ちしています。
- ・ 開催日時： 令和7年 10月 15日（水）
- ・ 開催場所： 山口県下関市